

## あおもりアースレンジャー活動報告書

平成23年04月14日

環境政策課長殿

活動内容を次のとおり報告いたします。

氏名	阿部慎一郎
電話番号	
活動期間	H22. 4. 1～H23. 3. 31
活動地域	青森県内
活動内容	<p>1. 調査研究  (株)ジェイエイエス（廃棄物収集運搬業者・H21 東北経済産業局バイオマス等未活用エネルギー調査業務受託）と共同で、可燃ごみの燃料化事業の実現のための調査研究を継続して行っている（H21～）。  当該事業は可燃ごみ（一般廃棄物）を効果的に前処理乾燥をおこないガス化、化学合成により軽油（収集運搬車等燃料活用）を生産する事業であり、廃棄物を資源化すると同時に化石燃料の消費を低減することで、CO2削減を推進する事業となるものである。</p> <p>2. 協議会設立  上記の可燃ごみ燃料プラントの事業計画では、プラントに隣接した植物工場への排熱供給やCO2供給を組み合わせており、微細藻類栽培による地域飼料生産の計画も進めており、飼料米の活用推進と組み合わせて、効果的な地域飼料生産の推進のため、22年11月、「飼料県産化協議会」を設立した。  会長は青森県産業総合研究センター唐沢理事長、副会長はNPOバイオネット阿部慎一郎、構成会員はトキワ養鶏・坂本養鶏・ジャパンフォアグラ・角弘・その他組合や企業、研究センター各部の方々から成る。  飼料米と微細藻類の組み合わせによる高機能鶏卵の試験や、有用微生物の添加による飼料給餌量の削減などの実証をおこない、飼料県産化のためのビジネスモデルを提案し、実現に向けた活動をしている。  現在、青森県の畜産生産額は817億円に対し、輸入飼料は470億円にのぼる。コメの生産額が570億円程度であるため、輸入飼料の県産化（飼料米や微細藻類の栽培）が進むことで、休耕田の活用によるCO2吸収固定や地域循環経済の拡大が期待される。現在、農水省の6次産業推進事業との連携を模索している。また上記1の前処理乾燥システムではリゴ、豆、豆腐粕などの効果的な乾燥貯蔵・飼料転換が可能となり期待されている。</p>

【提出先】 〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県 環境政策課 低炭素社会推進グループ 担当 前田主査  
FAX 017-734-8065  
E-mail toshiya\_maeda@pref.aomori.lg.jp 又は kankyo@pref.aomori.lg.jp

